

診療科名

消化器内科

当該診療科の研修期間中に

- ◎ ほぼ経験できる
- 症例によっては経験できる

経験すべき症候 -29症候-

外来又は病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床持論と、病態を考慮した初期対応を行う。

1	ショック	○
2	体重減少・るい瘦	◎
3	発疹	○
4	黄疸	◎
5	発熱	◎
6	もの忘れ	
7	頭痛	
8	めまい	
9	意識障害・失神	
10	けいれん発作	
11	視力障害	
12	胸痛	
13	心停止	○
14	呼吸困難	
15	吐血・喀血	◎
16	下血・血便	◎
17	嘔気・嘔吐	◎
18	腹痛	◎
19	便通異常(下痢・便秘)	◎
20	熱傷・外傷	
21	腰・背部痛	
22	関節痛	
23	運動麻痺・筋力低下	
24	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	
25	興奮・せん妄	
26	抑うつ	
27	成長・発達の障害	
28	妊娠・出産	
29	終末期の症候	

経験すべき疾病・病態 -26疾病・病態-

外来又は病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。

1	脳血管障害	
2	認知症	
3	急性冠症候群	
4	心不全	
5	大動脈瘤	
6	高血圧	
7	肺癌	
8	肺炎	
9	急性上気道炎	
10	気管支喘息	
11	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	
12	急性胃腸炎	◎
13	胃癌	○

14	消化性潰瘍	○
15	肝炎・肝硬変	◎
16	胆石症	◎
17	大腸癌	◎
18	腎盂腎炎	
19	尿路結石	
20	腎不全	
21	高エネルギー外傷・骨折	
22	糖尿病	
23	脂質異常症	
24	うつ病	
25	統合失調症	
26	依存症(ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博)	
臨床手技		
1	気道確保	
2	人工呼吸(バッグ・バルブ・マスクによる徒手換気を含む。)	○
3	胸骨圧迫	
4	圧迫止血法	○
5	包帯法	
6	採血法(静脈血、動脈血)	◎
7	注射法(皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保、中心静脈確保)	◎
8	腰椎穿刺	
9	穿刺法(胸腔、腹腔)	○
10	導尿法	
11	ドレーン・チューブ類の管理	
12	胃管の挿入と管理	○
13	局所麻酔法	○
14	創部消毒とガーゼ交換	
15	簡単な切開・排膿	
16	皮膚縫合	
17	軽度の外傷・熱傷の処置	
18	気管挿管	
19	除細動	
検査手技		
1	血液型判定・交差適合試験	
2	動脈血ガス分析(動脈採血を含む)	
3	心電図の記録	◎
4	超音波検査	◎